
第79期 年次報告書

(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)



証券コード5697

株式会社サンユウ

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループは2025年3月31日をもって第79期の事業年度を終了いたしましたので、ここにその事業の概況、及び決算の結果についてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要に支えられ、緩やかに回復しましたが、ウクライナ情勢の長期化やパレスチナ紛争による中東の緊張化と円安に起因する資源・エネルギー価格や諸資材物価の高騰などにより厳しい状況が続きました。

わが国のみがき棒鋼、及び冷間圧造用鋼線業界（当業界）の主要需要分野である自動車業界におきましては、中国での競争激化・東南アジアの販売不調に加え、認証不正問題により生産活動の低迷が続きました。また、建産機業界におきましても低調な水準で推移しました。その結果、2024年暦年における当業界の生産量は1,444千トンと前年に比し112千トン減少いたしました（前年比7.2%減）。

このような経営環境下、当社グループは全社を挙げて販売数量の確保、コスト削減、及び生産性の向上を推し進めるとともに、鋼材価格・労務費・物流コスト等の上昇を吸収すべく製品販売価格の改定や加工賃の是正、製品歩留りの改善、エネルギー原単位の削減等に努め、収益の確保に取り組みました。

これらの結果、販売数量は前年度に対して5%減少いたしました。が、鋼材値上げと加工賃値上げによる製品販売価格の改定の結果、売上高は24,444百万円（前期比1.8%増）と増収となりました。損益につきましても、販売数量の低迷、鋼材価格の上昇、及び人財確保に向けた賃金アップ等による影響があったものの、製品販売価格の改定、加工賃の是正、及びエネルギー原単位の削減等の努力に加え、在庫評価益もあり営業利益は668百万円（同12.2%増）、経常利益は725百万円（同11.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は450百万円（同16.6%増）と増益となりました。

なお、事業部門ごとの業績は次のとおりであります。

まず、みがき棒鋼部門におきましては、売上高は15,552百万円（同2.2%増）となりました。

次に、冷間圧造用鋼線部門におきましては、売上高は8,891百万円（同1.1%増）となりました。

当連結会計年度に実施した当社グループの設備投資の総額は564百万円で、その主なものは、連結子会社である大阪ミガキ株式会社における営業所新設（189百万円）であります。これらの資金は自己資金、及び借入金にて賄いました。

わが国経済の今後の見通しにつきましては、ウクライナや中東情勢、更なる労務費・諸物価の上昇等の懸念があり、楽観視できない状況が継続している中で、足元の米国トランプ政権の関税政策による自動車等の国際的なサプライチェーンに及ぼす影響、及び世界経済へのマイナス影響が憂慮される状況と認識しています。

当業界につきましても、主要需要分野である自動車・建産機業界においても上記の関税政策による影響を免れることができない極めて厳しい状況にあると認識し、今後の動向を慎重に見極めていくことと、変化への備えが何よりも重要であると考えております。

このような経営環境下、当社グループにおきましては、保有する生産設備の効率的且つ最適な稼働を図るなどグループ間・事業所間の連携をこれまでも増して一層強化することにより、グループ内経営資源を有効に活用する等の施策により、連結収益の最大化を追求する所存であります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ以上の諸事情をご賢察のうえ、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2025年6月

代表取締役社長 喜多 章

事業の内容

●生産

大阪府内の2工場、及び熊本県の九州工場を軸に、品質・数量ともに安定した効率的生産体制を構築しています。

需要家の求めるあらゆる用途や仕様に適合する優れた品質の製品を安定的・効率的に生産し、迅速・確実にお届けするために、大阪府内の枚方市と八尾市、及び熊本県菊池市に消費地密着型のみがき棒鋼（普通鋼・構造用鋼、合金鋼、快削鋼、ステンレス鋼）と冷間圧造用鋼線（普通鋼・構造用鋼、合金鋼）の工場を展開しています。

枚方市にある枚方工場では、みがき棒鋼の多品種生産を行うとともに精密加工により、高付加価値製品を産み出しています。八尾工場、及び九州工場では、みがき棒鋼を生産するとともに自動酸洗設備、及び熱処理炉を最大限に活用した冷間圧造用鋼線の生産により、自動車関連需要に対応しています。高炉・電炉メーカーの厳しい品質管理のもとで生産された優れた素材を使用することにより、良質のみがき棒鋼、及び冷間圧造用鋼線を生産し多くの産業界に提供しています。

●品質管理

鉄鋼メーカーと共同でよりよい品質の製品を開発しており、厳しい品質管理体制は需要家にも定評があります。

技術革新の著しい進展のなかで、製品に対する品質要求はますます高まっています。当社グループでは、高品質の製品を生産するために、その生命線ともいべき引抜きダイスの寸法精度を厳密に管理するとともに製品の寸法精度や形状精度を向上させ、表面きず等を低減させるために、徹底した工程内検査や厳格な出荷前検査を実施しています。特に表面きずについては渦流探傷機等を活用し、万全の注意を払って検査しています。また、鉄鋼メーカーとは新製品・新技術の開発計画、品質等について定期的に検討会を開催し、共同での改善・開発や共同品質管理体制を確立しています。

(株)サンユウにおきましては、ISO9001、及びISO14001の国際規格を認証取得しており、今後とも品質の充実を図ってまいります。

●物流

業界随一の自動立体倉庫を軸に多品種の標準製品を常備在庫し、多様なニーズに即応できる全国的な物流・情報ネットワークを構築しています。

「必要なとき必要な製品を必要だけ供給する」といった販売基本方針のもと、製品を供給するために、全国をカバーする物流・情報ネットワークを構築しています。その核となるのが、大阪府内2カ所に設けた立体倉庫で、常時9,000トンもの多彩な標準製品をストックしています。特に東大阪市に設置した業界初の自動立体倉庫では出入庫管理はすべてコンピューター化されているので、需要家が求める製品がどこにあるかを瞬時に検索することができるようになっていきます。その結果、効率的な搬出入作業が可能となり、近畿圏の即納体制を確立しています。

また、北海道から九州まで、全国各地を網羅した地域特約店との関係を強化することにより、(株)サンユウの各営業店舗並びに子会社の大阪ミガキ(株)、及び大同磨鋼材工業(株)の各拠点と合わせて全国的な物流・情報ネットワークを構築しています。

●技術

優れた良質の素材と最新の技術力、設備力で、高精度・高品質のみがき棒鋼、及び冷間圧造用鋼線を効率的に生産しています。

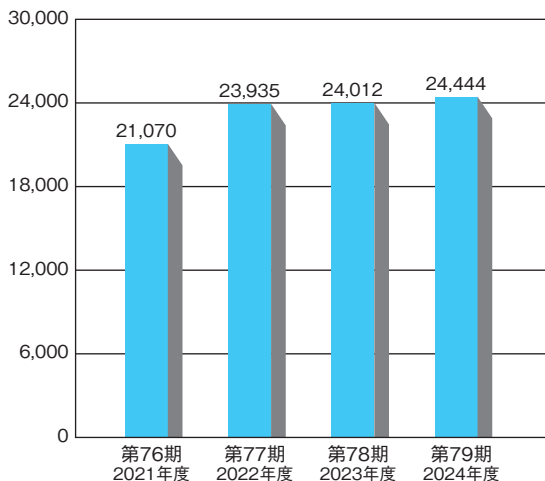
みがき棒鋼、及び冷間圧造用鋼線は、鉄鋼メーカーの優れた品質の熱間圧延材を使用し、冷間引抜き加工等により生産しています。冷間引抜き加工とは、厳密な寸法・形状の穴型をもつ引抜きダイスと呼ばれる超硬合金製の工具で、少し大きい寸法の素材を穴型を通して引き抜くことにより、穴型の寸法・形状に成型する加工方法のことをいいます。

このうち、みがき棒鋼は（引き抜きー矯正）工程または（表面切削（ピーリング）ー矯正）工程により精密な寸法・形状に仕上げられた棒状の製品をいい、引抜き機は細物用に使用する連続抽伸機と太物用に1本ずつ引き抜く棒鋼引抜き機（ドローベンチ）の2種類を使用しています。当社グループでは、最新の連続抽伸機、棒鋼引抜き機、ピーリング、及び矯正機を導入し、精密で高品質の製品を効率よく生産し、さまざまな需要家ニーズに応じています。

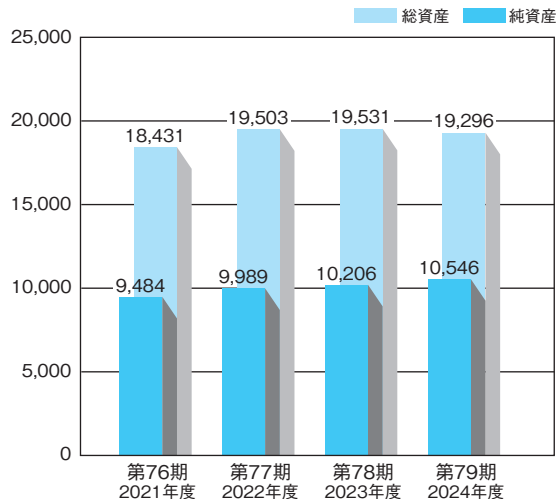
一方、冷間圧造用鋼線は、自動酸洗設備で表面の酸化皮膜を除去した後、伸線機で引き抜くことにより精密な寸法・形状に仕上げられたコイル状の製品をいい、熱処理設備で熱処理を行うことにより、高品質の製品を生産し好評を得ています。

連結業績の推移

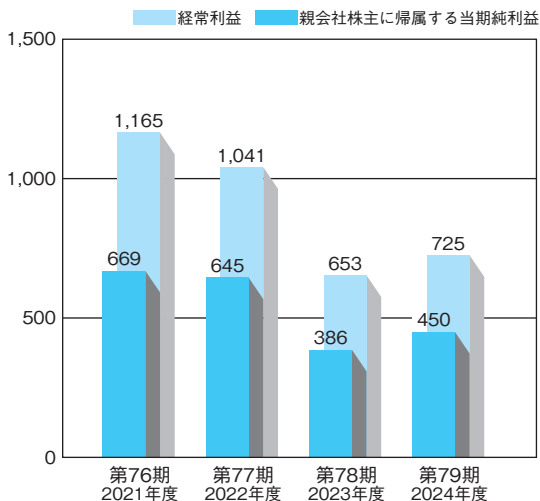
売上高 (単位:百万円)



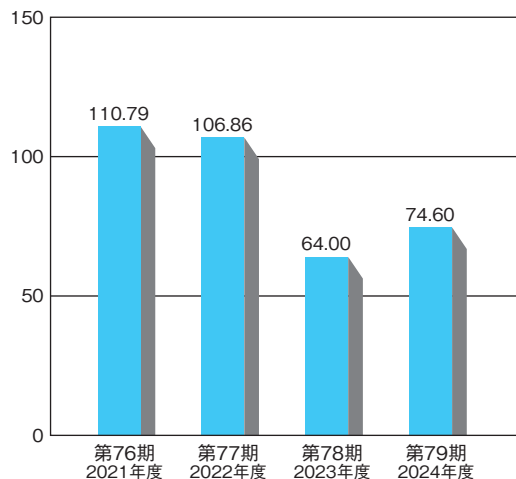
総資産・純資産 (単位:百万円)



経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)



1株当たり当期純利益 (単位:円)



連結財務諸表の要旨

連結貸借対照表（2025年3月31日現在）（単位:千円）

科 目	金 額
[資 産 の 部]	
流 動 資 産	13,797,018
現金及び預金	3,129,061
受取手形及び売掛金	3,590,400
電子記録債権	1,911,754
棚卸資産	5,147,558
その他	18,243
固 定 資 産	5,499,414
有 形 固 定 資 産	4,641,659
建物及び構築物	1,151,252
機械装置及び運搬具	1,172,711
土地	1,996,055
その他	321,640
無 形 固 定 資 産	56,089
投資その他の資産	801,664
資 産 合 計	19,296,433
[負 債 の 部]	
流 動 負 債	8,168,735
支払手形及び買掛金	1,701,073
電子記録債務	3,923,225
短期借入金	1,430,000
1年内返済予定の長期借入金	118,216
その他	996,221
固 定 負 債	580,973
長期借入金	282,700
退職給付に係る負債	152,060
その他	146,212
負 債 合 計	8,749,709
[純 資 産 の 部]	
株 主 資 本	9,847,450
資 本 金	1,513,687
資 本 剰 余 金	1,399,205
利 益 剰 余 金	6,955,997
自 己 株 式	△ 21,439
その他の包括利益累計額	7,984
その他有価証券評価差額金	7,984
非 支 配 株 主 持 分	691,289
純 資 産 合 計	10,546,724
負 債 ・ 純 資 産 合 計	19,296,433

(注) 1. 連結子会社は、大阪ミガキ株式会社及び大同磨鋼材工業株式会社の2社であります。
2. 有形固定資産の減価償却累計額 14,142,495千円

連結損益計算書（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）（単位:千円）

科 目	金 額
売上高	24,444,766
売上原価	21,196,805
売上総利益	3,247,961
販売費及び一般管理費	2,579,338
営業利益	668,622
営業外収益	67,273
営業外費用	10,377
経常利益	725,518
特別利益	28
特別損失	482
税金等調整前当期純利益	725,064
法人税、住民税及び事業税	247,501
法人税等調整額	△ 40,080
当期純利益	517,642
非支配株主に帰属する当期純利益	66,729
親会社株主に帰属する当期純利益	450,913

(注) 1株当たり当期純利益 74円60銭

連結キャッシュ・フロー計算書（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）（単位:千円）

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,417,700
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 522,014
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 684,711
現金及び現金同等物の増加額	210,974
現金及び現金同等物の期首残高	2,918,087
現金及び現金同等物の期末残高	3,129,061

連結株主資本等変動計算書（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）（単位:千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,513,687	1,303,508	6,619,928	△ 21,439	9,415,684
当期変動額					
剰余金の配当			△ 114,844		△ 114,844
親会社株主に帰属する当期純利益			450,913		450,913
連結子会社株式の取得による持分の増減		95,697			95,697
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	95,697	336,069	—	431,766
当期末残高	1,513,687	1,399,205	6,955,997	△ 21,439	9,847,450

	その他の包括利益累計額 その他有価証券評価差額金	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	7,895	782,756	10,206,336
当期変動額			
剰余金の配当			△ 114,844
親会社株主に帰属する当期純利益			450,913
連結子会社株式の取得による持分の増減		△ 120,697	△ 25,000
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	88	29,230	29,318
当期変動額合計	88	△ 91,466	340,387
当期末残高	7,984	691,289	10,546,724

個別財務諸表の要旨

貸借対照表（2025年3月31日現在）

(単位:千円)

科 目	金 額
[資 産 の 部]	
流 動 資 産	10,545,607
現金及び預金	2,175,291
受取手形及び売掛金	3,230,776
電子記録債権	1,400,593
棚卸資産	3,712,590
その他	26,355
固 定 資 産	5,362,291
有 形 固 定 資 産	3,249,251
建物及び構築物	926,851
機械装置及び運搬具	881,192
土地	1,352,150
その他	89,057
無 形 固 定 資 産	36,967
投資その他の資産	2,076,071
資 産 合 計	15,907,898
[負 債 の 部]	
流 動 負 債	6,326,260
支払手形及び買掛金	1,426,319
電子記録債務	3,850,335
短期借入金	280,000
1年内返済予定の長期借入金	80,700
その他	688,905
固 定 負 債	462,101
長期借入金	242,100
退職給付引当金	118,526
その他	101,474
負 債 合 計	6,788,362
[純 資 産 の 部]	
株 主 資 本	9,110,275
資 本 金	1,513,687
資 本 剰 余 金	1,317,207
利 益 剰 余 金	6,300,820
自 己 株 式	△ 21,439
評価・換算差額等	9,260
その他有価証券評価差額金	9,260
純 資 産 合 計	9,119,536
負 債 ・ 純 資 産 合 計	15,907,898

(注) 有形固定資産の減価償却累計額

11,576,137千円

損益計算書（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位:千円)

科 目	金 額
売 上 高	19,871,998
売 上 原 価	18,029,212
売 上 総 利 益	1,842,786
販売費及び一般管理費	1,499,288
営 業 利 益	343,497
営 業 外 収 益	82,435
営 業 外 費 用	3,806
経 常 利 益	422,126
特 別 利 益	28
特 別 損 失	482
税 引 前 当 期 純 利 益	421,671
法人税、住民税及び事業税	113,497
法 人 税 等 調 整 額	△ 14,284
当 期 純 利 益	322,458

(注) 1株当たり当期純利益

53円35銭

会社の概要

2025年3月31日現在

重要な子会社の状況

2025年3月31日現在

社名 株式会社サンユウ
所在地 本社／大阪府枚方市春日北町3丁目1番1号
電話：072-858-1251 FAX：072-858-2672
設立 1957年1月
資本金 1,513百万円
従業員数 196名（単体）、301名（連結）
事業内容 みがき棒鋼の製造、加工、及び販売
冷間圧造用鋼線の製造、加工、及び販売

会社名	資本金	当社の議決権比率	主要な事業内容
大阪ミガキ株式会社	40百万円	72.4%	みがき棒鋼の製造、及び販売
大同磨鋼材工業株式会社	20百万円	100.0%	鋼材の販売

（注）当社は、大阪ミガキ株式会社の株式を2024年11月13日に追加取得（4.9%、累計72.4%）いたしました。

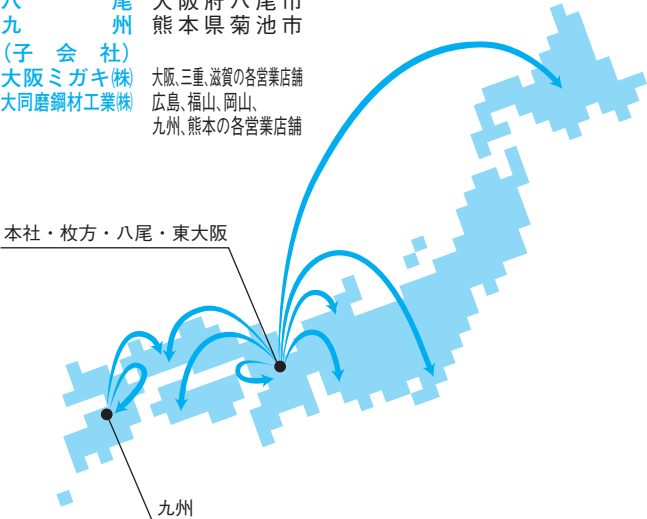
主な事業所及びネットワーク

2025年3月31日現在

役員

2025年6月27日現在

本社（営業店舗） 大阪府枚方市
枚方 大阪府枚方市
八尾 大阪府八尾市
東大阪 大阪府東大阪市
大 大阪府大阪市
九 熊本県菊池市
（工場）
枚方 大阪府枚方市
八尾 大阪府八尾市
九 熊本県菊池市
（子会社）
大阪ミガキ(株) 大阪、三重、滋賀の各営業店舗
大同磨鋼材工業(株) 広島、福山、岡山、九州、熊本の各営業店舗



代表取締役社長	喜多章
取締役	荒木克典
取締役	清家徹
取締役	伊豆大助
取締役	清水良寛
取締役	若林嘉幸
常勤監査役	生方徹
監査役	藤田典明
監査役	仲山隆之
上席執行役員	松井亮一
執行役員	笹山英俊
執行役員	向井徹
執行役員	河村岳史
執行役員	平田裕介

（注）1. 取締役清水良寛、及び若林嘉幸の両氏は社外取締役であります。
2. 監査役生方徹、藤田典明、及び仲山隆之の3氏は社外監査役であります。

株式の状況

2025年3月31日現在

株主メモ

発行可能株式総数 19,344,000株
発行済株式の総数 6,091,000株

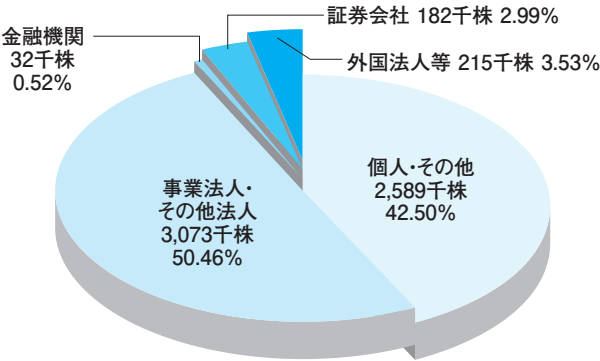
株主数 2,526名

大株主（上位10名）

株主名	持株数	持株比率
日本製鉄株式会社	2,035 千株	33.67 %
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	452	7.49
村岡克彦	275	4.56
日鉄物産株式会社	250	4.14
サンユウ従業員持株会	188	3.11
永田麻里	187	3.10
佐藤商事株式会社	180	2.98
柏木伸夫	135	2.25
高島庄二郎	90	1.50
INTERACTIVE BROKERS LLC	69	1.14

（注）持株比率は、発行済株式の総数から自己株式（46,570株）を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
その他必要がある時は、あらかじめ公告して定めます。

公告方法 電子公告により当社ウェブサイト (<https://www.sanyu-cfs.co.jp>) に掲載いたします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

単元株式数 100株
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
各種お問合せ先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
郵便物送付先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777（通話料無料）

※受付時間 9:00～17:00（土、日、祝祭日、年末年始を除く）

IRメール配信のお知らせ

当社は、株主・投資家の皆様向けにIRメールを配信しています。
配信をご希望の方は、下記アドレスから簡単にご登録（無料）いただけます。

<https://rims.tr.mufig.jp/?sn=5697>

IRメール配信サービスは、三菱UFJ信託銀行株式会社が運営しています。

